

地域の寺子屋事業



平成28年度第1回総合教育会議

1 地域の寺子屋事業の目的

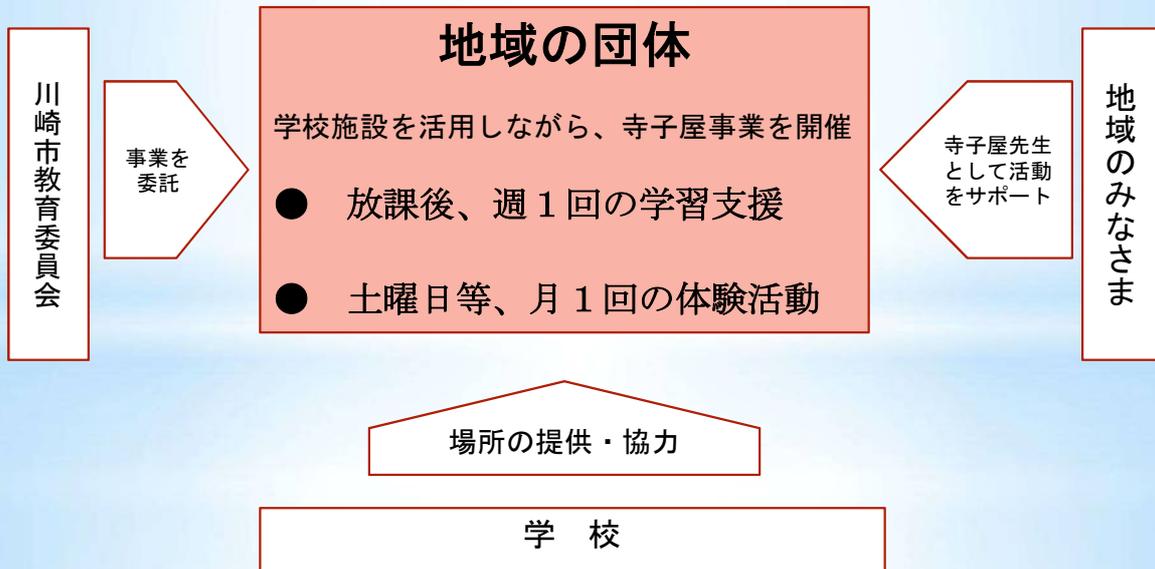
(1) 目 標

- ・ 地域ぐるみで子どもの教育、学習をサポートする仕組みづくりにより、地域の教育力向上を図る。
- ・ シニア世代をはじめとする地域人材の知識と経験を活かして、多世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくる。



子どもたちに様々な学習機会を提供することにより、
学ぶ意欲の向上や豊かな人間性の形成を図る。

(2) 地域の寺子屋事業の概要



3

2 地域の寺子屋事業のねらい

(1) 寺子屋における「学習支援」とは？

- ・ 週1回の学習支援
- ・ 学習塾とは異なる関わり



- ・ 点数、成績をあげることも学習の習慣化を目指す。
- ・ できた！勉強が楽しい！と思える体験を重ねる。



4

(2) 豊かな人間性の形成

- ・ 様々な地域の大人と関わる機会
- ・ 異年齢・異クラスの子ども同士での学び合いの機会



人と関わる力、コミュニケーション力を育む。



5

(3) 地域の教育力向上

多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくり

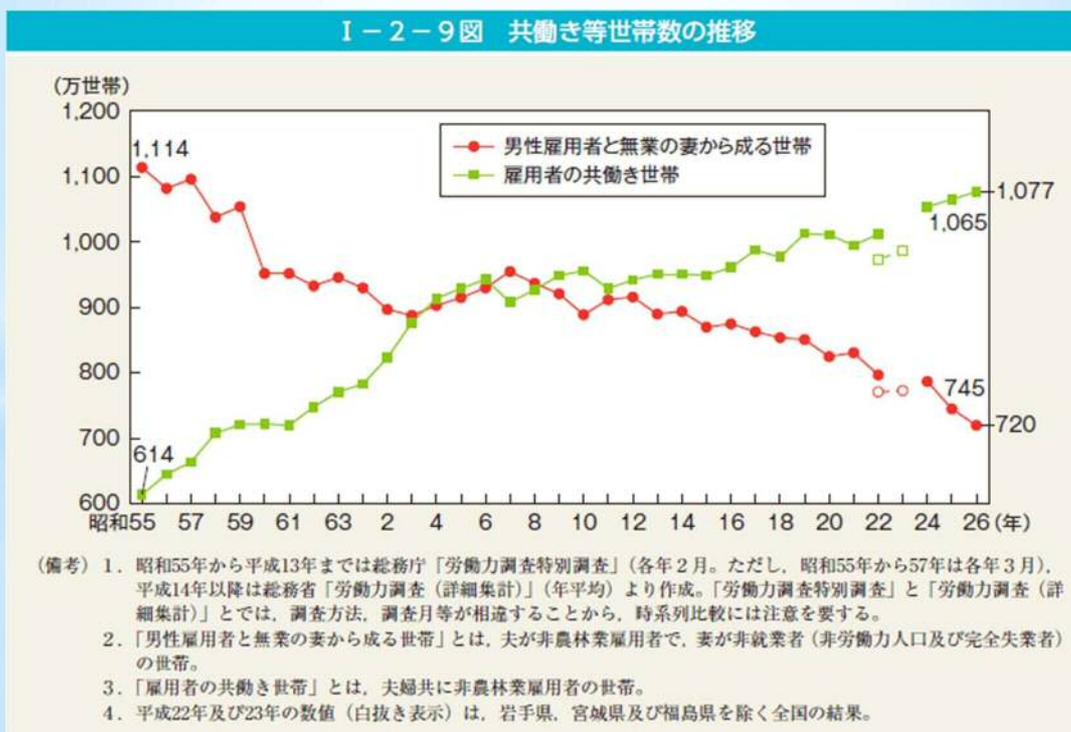
- ・ 子どもを中心とした多世代での学び合い
- ・ 保護者同士、保護者と地域の人との交流
- ・ シニア世代が生き生きと活動する場づくり



6

(4) 家庭の状況

■増える共働き世帯（内閣府男女共同参画白書より）



7

(5) 各世帯の状況

①川崎市の世帯数(平成27年10月1日時点)

691,236世帯

②平成22年度国勢調査結果

夫婦のみ、或いは親と子どもといういわゆる核家族世帯51.7%

単独世帯42.5%



核家族世帯、単独世帯が9割以上となっている。

8

3 寺子屋の開講状況

学習支援の様子



9

学習支援の様子



10

学習支援の様子



11

体験活動の様子



12

体験活動の様子



13

体験活動の様子



14

(1) 各寺子屋の参加者数

学習支援の参加登録者数（平成28年7月8日現在）

学校名	学年						合計
	1	2	3	4	5	6	
大島小		23	21	15	11	13	83
渡田小		52	55	26	21	4	158
日吉小			33	20	0	1	54
東小倉小	44	52	39				135
西御幸小	秋以降の開講						0
中原小	48	49	24	22	11	1	155
上丸子小		27	41	23	6	1	98
住吉小		11	18	10	5	5	49
今井小			32	5	5	0	42
久本小	2年生以上の全児童対象						※月平均54.3
高津小		56	45	21	8	11	141
上作延小		39	29	22	17	3	110
富士見台小		45	29	17	9	3	103
犬蔵小	9月から	34	11	4	5	0	54
菅生中	全生徒対象						※月平均65.6
中野島小	9月から	23	8	9	8	2	50
東菅小		20	18	14	12	2	66
三田小		45	46	23	16	12	142
宿河原小		38	20	16	15	3	92
栴形中	全生徒対象						※月平均101
西生田小		36	27	12	6	9	90

※事前登録制ではないので、毎月の参加者数を平均した数

寺子屋先生の確保や、会場の大きさの問題から、一度に全ての児童を受け入れることはできない。



週によって、学年を絞って実施

土曜日の体験活動も、プログラムによっては抽選になることもある。

(2) 保護者の期待（寺子屋実施前のアンケートから）

学習塾のような学習内容よりも、基礎基本の定着を求めている。

- ・授業の復習や、勉強で分からないところを教えてほしい。
- ・高い学力を目指すよりも、勉強が楽しい！と思えるような寺子屋に。
- ・基礎がしっかりとつく内容をお願いしたいです。



シニア世代、地域の方との交流を求めている。

- ・シニア世代の方々に私たち親が教えられないことをたくさん教えてほしい。
- ・学校ではできない体験や、祖父母世代の方達と交流させたい。
- ・子どもにとって地域に知っている人が増えるのは心強い。

(3) 参加した子どもや寺子屋先生達の反応



- ・友達と仲良くなれたし、勉強も分かった！
- ・音読を聞いてもらえた！
- ・いっぱい褒めてもらえた！
- ・まちで寺子屋先生から声をかけてもらえた！

→「寺子屋楽しい」「勉強楽しい」へ

- ・子ども達から元気もらえる。
- ・まちで子どもから「寺子屋先生！」と声をかけられた。
- ・脳トレになった。
- ・最近の学校や子ども達の様子が分かった。



→生きがいくくりと地域で活躍する場の創出

17

(4) 事業実施後の保護者の反応

- ・子どもは勉強が面白かったと言っています。それってすごい！
- ・地域の方から褒めてもらえたり、花丸をもらえて自信がついた
- ・親も安心して放課後を過ごさせることができました。
- ・色々な方とふれあう中で、たくさんの知識が身についている気がします。
- ・親や先生とは違う、地域の大人の方と接することができる貴重な時間と思っています。
- ・放課後に歩いていると、子どもが「寺子屋の人」と教えてくれました。何か困った時に地域の人に声をかけて助けてもらったり、又は、大きくなってから地域の困ったことの手助けができるように成長してほしいと思っています。
- ・毎週参加させられたらなあ。



18

4 今後に向けて

(1) 現在の課題と方向性



- ・ 参加の機会を増やすために...

寺子屋先生の募集、養成講座の実施

- ・ より多くの学校へ寺子屋を広げるために...

実施団体やコーディネーターの発掘・養成、広報活動

- ・ 事業を継続していくために...

寺子屋同士の交流促進、スタッフの増強に向けたサポート

19

子どもも大人もみんなが笑顔に



20